

# 校長室より

令和6年5月13日(月)



## 「火災を経験して」

5月7日、本校理科準備室で火災が発生しました。幸いにも壁や床が焼けた程度で、大惨事にいたらなかったのは不幸中の幸いでした。そして何より、この火事で誰一人としてケガ人を出さずにすんだのも本当によかったと思います。

5月8日の午前中は、警察および消防による調べが行われ、出火原因は特定できないという報告を受けました。

また、午後からは、大人たちで清掃活動を行い、みなさんの学習環境を整えました。まだ多少の汚れはありますが、あとは日頃の掃除で少しずつきれいにしていこうと思います。みなさんにはしばらくの間、不自由な思いをさせてしまうと思うと本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかし、つらいことだけではありません。うれしいお知らせもあるのです。火災の翌朝、私の友人やお世話になった先輩方からたくさんの励ましやお見舞いの言葉をいただきました。8日の清掃活動では、みなさんのお父さんやお母さんが仕事を休んで学校に駆けつけてくださいました。担任の先生方は、みなさんの机や椅子、ロッカーの中などをピカピカに拭き上げてくれました。学校出入りの業者様からは火事見舞いをいただきました。学校再開の朝、一人の男子生徒が私に向かって「校長先生、おとといは大変でした。ありがとうございます」と声をかけてくれました。私たちが大変なときに、このような優しい振る舞いというのはとても心にしみみます。本当にありがとうございました。次は、私たちが困った人たちに手をさしのべなければならないと改めて感じました。

そこで、生徒のみなさんができることは…。それは、いつもどおりの大きなあいさつ、明るい声、人なつこい笑顔でいいですよ。

今回の火災で、みなさんやおうちの方には大変なご心配とご迷惑をおかけしましたことを心よりおわびします。これからも学校の安全管理や点検を充実させ、安心安全に過ごせる坂井中学校を築いていきます。